

平成 30 年度 佐世保市食育推進会議 議事録

(1) 日時 平成 30 年 10 月 16 日 (火) 19 時～21 時

(2) 場所 佐世保中央保健福祉センター8 階講堂

(3) 出席者

【委員】

柴田会長、林副会長、川野委員、田中委員、小松委員、長富委員、井上委員、澤田委員、靄田委員、谷川委員、山口委員、川崎委員、森山委員、大神委員、眞弓委員

【事務局】

保健福祉部長 (塚元)、保健所長 (井上)、健康づくり課長 (野村)、健康づくり課長補佐 (野中)、健康づくり課副主幹 (北野)、健康づくり課 (島田)、(松尾)、(久保)、(辻)

【食育推進検討委員会】

農業畜産課 (坂本)、卸売市場管理事務所 (中原) 水産課 (戸浦)、人権男女共同参画課 (濱野)、医療保険課 (古賀)、長寿社会課 (沖原)、生活衛生課 (大野)、食肉衛生検査所 (橋本)、子ども育成課 (香田)、子ども保健課 (田中、市川)、廃棄物減量推進課 (杉谷)、学校保健課 (吉富、浦山)

(4) 議事

- ① 第 3 次佐世保市食育推進計画における実施プランの進捗状況について
- ② 食育推進実施プラン目標値等の変更について

(5) 会議内容

【事務局】

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状交付 (3 名の方が、委員として新たに委嘱)
- 3 委員自己紹介
 - ・座席の順に、所属、氏名、一言挨拶
- 4 保健福祉部長挨拶
- 5 会議成立の報告 (条例第 6 条第 2 項)
 - ・委員 17 名中 15 名出席 過半数出席により成立
- 6 情報公開について
- 7 資料の確認

柴田会長 (以下：会長)

それでは会議を進行いたします。

〈議事① 第 3 次佐世保市食育推進計画における実施プランの進捗状況について〉

【会長】

まず、議事①につきまして、事務局からの説明を求めます。

〈議事① 第3次佐世保市食育推進計画における実施プランの進捗状況について〉

～事務局説明～

会長

どうもありがとうございました。

ただいま、実施プランのいくつかの削除・追加、目標達成度80%未満の事業について、各担当課から詳しく説明がありましたが、何か説明に対して委員の方から質問やご意見ございませんでしょうか。いろいろ多岐にわたっておりまして、早く理解するのは非常に難しいところがあると思いますが、いかがでしょうか。

林委員

事業番号2番そば打ち体験ですが、参加者数が平成29年度13名ということで、これは親子で13名でしょうか？父親が13名でしょうか？

【人権男女共同参画課】

親子合わせての人数になります。お父さんが6名で、子供さんが7名で合わせて13名でした。

林委員

わかりましたありがとうございます。もう一つ教えていただきたいのですが、事業番号26番の、歯科の方になります。市内各地で行っていましたが、長崎は離島の方が市民のお口の健康状態とか、離島の方が健診を受ける機会や歯科の治療を受けることが難しいということで、状態が悪いということを目にしたことがあるんですけど、佐世保の方ではどうでしょうか？こちらの方と、宇久とか離島の方と虫歯の数とか、健診を受ける割合は低くなるのでしょうか。

【健康づくり課】

宇久・高島・黒島と離島の健診はありますが、宇久は合併する前から1週間かけての事業として、町がやっていたところをずっと継続しているというところで、長崎大学の予防歯科の先生が5日間入って実施しています。毎年行く歯科スタッフが多い場合は、集団健診受診者の全数にあたるくらいの数と一緒に実施していくので、健康管理ということで、全身の健診と歯科がセットで、受診達成者率と受診者数も多かったのですが、宇久は今回10月に実施済みで、最近の傾向的には、全体的に少なかったという評価が出ています。高島・黒島は11月ということで、50名弱くらいの人数で健診を勧めていくということになっています。

分析に関しましては、細かくは、う蝕の有病者率というところまでは出ていないのですが、傾向的には本土と変わらないような状況になってきていると思われまます。

林委員

どうもありがとうございました。

会長

よろしいでしょうか。他に何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

齋田委員

今説明がなかったところでも大丈夫ですか？

会長

はい。

齋田委員

いろいろな事業がされているというところで、大変だろうなという風に思うんですけども。ひとつこれから社会に出ていく子供たちを育てている、高校の立場でということでお話しをさせていただければと思います。まず、それなりの事業が子供対象に、あるいは若者、家族、そして高齢者ということでターゲットを絞って、各課の立ち位置があるのでそういう風になっていると思うのですが、それをどうやって系統立てて意識してされているのかなというのが少し見えないなという風なところを感じました。一生を一本の線でいけば、時間軸で考えていかなければいけないと思うので、小さいころにこれを経験した子供が次に、小・中学校を対象とした事業ではこの辺を考えさせ、高校ではこれを、大学ではこれをという風に積み重ねていかないと単発で事業をしても、なかなか定着というところまではいかないなという風に感じています。高校のPTAの会議で一つ話を聞いたんですけど、子供の遊びが変わっているということで、どこでも言われていることかもしれませんが、ままごととかごっこ遊びがなくなった。結局作っている様子は見ていない。だから、今配膳遊びになっていると。それは幼稚園生とかいうところでも、出てきていると全国的にはですね。そういう風なことも聞いているので、ぜひこういう機会を系統立てて実施できるような取り組みになっていけばいいなという風に思いましたのでよろしくお願いします。

高校にも来ていただきまして、ブースを設けて食育推進事業をしていただいています。私も何回も見せていただきました。視覚にもっと訴える。生徒がアッと驚くような実験が、目で見て結果がわかるようなところで、もっともっと訴えていけるような内容を盛り込んでいただけると、更に生徒たちが関心を持ってこれから自分で食生活をしっかりやっていくという必要性を感じていくのではないかなと思っていますので、その辺りの工夫というところも今後お願いしたいなと思います。よろしくお願いします。

会長

ありがとうございます。今のご意見で①系統立てた食育の対策が何かあるかどうかということ。②高校のブースで何か目を引くような工夫がないかということでしたが、質問に対して事務局から何かあ

りませんか。

【健康づくり課】

ご意見ありがとうございます。確かに各部局担当課を見ていただければ分かりますように、教育委員会や市民生活部もありまして、保健福祉部がメインになっているものの、市役所の窓口そのものも各ライフステージ毎になっていないというところもありまして、事業の組み立てを我々も四苦八苦しているところです。当然、縦割りになっておりますので、そういう部分の弊害をなくすという意味で、このような会議で実際には年齢毎のというのは難しいところかもしれませんが、一本の線になるようにわれわれ担当部局の職員が連携を取りながら横の事業、他の部局でやっている事業との関連性とかそういったところも意識して組み立てるように今後連携を強めていかなければいけないと、今ご意見いただいて感じたところでもありますので、ワーキングの会議もしておりますので、後ろにおります市のメンバー含めて、そういったところを意識しながら事業の編成に努力したいと思います。

それから、学校内での啓発事業につきましても、学校現場の職員の方々、生徒と接されておられると思いますので、お邪魔する前にもご相談する機会があれば、先生方のご意見も踏まえながら、それを参考にさせていただいて少しキャッチーなというか、今どきの生徒の皆さんが目を肥やすというか、食について考えないといけないねと提供いただけるような工夫もさせていただきたいと思っておりますので、具体的にどうしたらいいかを答えられるわけではないですけども、先生方から見た今のお子さんたちが興味を持っているものとかも少し取り入れながら啓発に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

会長

はい、ありがとうございました。役所の縦割りというところがなかなか難しい問題だと思いますけれども。他にご意見はありませんか。

長富委員

事業番号13、1歳6か月児健診・15、3歳児健診ですけれどもこれが、95.6%・91.7%という数字は、佐世保市内の全対象者、1歳半のお子さんの95%が受診していると理解してよろしいでしょうか。

【子ども保健課】

はい、その通りでございます。

長富委員

はい、ありがとうございます。

会長

よろしいですか。このところで、健診の未受診者に対しては、手紙や電話で受診勧奨を行っているというのが出てきますけど、受診勧奨を行った後はどういった結果が出ていますか。

【子ども保健課】

受診勧奨を行った後、受診されている場合は、実績値のパーセンテージに入っています。4か月・1歳6か月・3歳健診で就園をされていらっしゃる方は、家庭の事情もあるので、それ以上はしつこく追及はしていません。どこでも把握をしていない方については、家庭訪問で一度様子を確認するようにはしており、その時に困りごとや食事の内容や身長・体重を聞くようにして、保健指導という形で対処しているような状況です。

会長

はい、わかりました。他にご意見ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

川野委員

事業番号18、聞き漏れていたら申し訳ないのですが、一度大学にもお話をいただいたようで、今年度は実施をされなかった、今年度はどのような進捗状況なのかなと思ひまして。お願いします。

【健康づくり課】

今年度から大学生の食育推進を実施することになっていますが、まだ話が進んでおらず、一度7月に大学の方で実施をさせていただくということで話を進めていきましたが、大学をお借りしての実施が難しいということになり、今後日程調整をしていくことになっています。今年度1回、国際大学でさせていただく予定になっています。

川野委員

今年度1回。わかりました。ありがとうございます。

会長

よろしいですか。他にありませんでしょうか。

田中委員

P3、事業番号24番の健康相談について。目標値が5,000人で、実績値が2,733人、54.7%というところですが、減った理由が老人保健施設での実施場所が減ったということと、実施回数が減ったということは、これは何か事情があって減ったのでしょうか。元に戻らないと、次の目標値が上がらないということですが、改善するところはありますか。

会長

事務局いかがでしょうか。

【健康づくり課】

老人保健福祉施設の閉館が1施設と、工事が1施設で2施設が実施できなかったということになります。施設自体が減ったり、回数が減ったりしているので、目標値の下方修正をするということで、後程ご説明予定でした。

会長

田中委員が質問されたのは、回数が減ったのはどうしてなのかというところですが。

【健康づくり課】

回数が減ったのは予算の関係もありまして、2つの課にまたがって事業を実施していましたが、そういう事情で減ったということです。

会長

わかりました。よろしいですか。他にご意見ございませんでしょうか。それでは、議事①第3次佐世保市食育推進計画における実施プランの進捗状況について、委員の皆様ご理解いただいたでしょうか。よろしいでしょうか。

委員

はい。(承認)

会長

はい、ありがとうございます。それでは、了解いただいたということで、議事①は終了いたします。続きまして＜議事② 食育推進実施プランの目標値などの変更について＞事務局からの説明を求めたいと思います。

＜議事② 食育推進実施プランの目標値などの変更について＞

～事務局説明～

会長

ありがとうございました。平成30年度の目標値を変更するというご説明がありましたけども、この説明につきまして、ご意見はございませんでしょうか。ご質問ないでしょうか。

会長

事業番号31番母子手帳交付した数を最初は目標値に掲げていましたけども、これは全員もらうんですか？母子手帳は。

【子ども保健課】

母子手帳を取りに来られる方の人数ですか？

会長

取りに来られた方の人数で、

【子ども保健課】

取りに来られた方の人数でこれまでしていたんですけれども、これからは初産婦の方の人数に対して栄養相談を受けられた方の実施率ということを目標にしたいと思っております。

会長

わかりました。母子手帳をもらえる人の数から、栄養指導を受けられた方に変ったんですね。

【子ども保健課】

はい。

会長

他はありませんでしょうか。

事業番号 29 番きらっと元気教室ですけど、最初は目標値がなくて、変更後は栄養改善の健康教育を実施した割合ということですけども、きらっと元気教室の中では、栄養教室というのを全員に実施することではないんですか？

【長寿社会課】

きらっと元気教室に参加される方は、全員 1 回は栄養の健康教育を受けるということで、実施事業者さんにはお願いしています。

会長

大体 100%になる予定なんですか？

【長寿社会課】

大体 100%になるところで、目標値は 100%にはしているんですけども、教室が 12 回実施される事業なんですけども、その間の中で 1 回という風にはなっているので、高齢者なので、途中で最後まで来ることができずに、参加できなくなる方もいらっしゃるんで、そこで 100%に平成 29 年度はいいないというところがありました。

会長

12 回もあるんですね。

【長寿社会課】

はい。その中で 1 回になっています。

会長

はい。わかりました。

他にございませんか。よろしいでしょうか。

他にご意見ございませんので、平成 30 年度の目標値変更につきまして、委員の皆様のご了解がいただけるかどうかというところですけど、よろしいでしょうか。

委員

はい。(承認)

会長

はい、ありがとうございます。ご了解いただけましたので、平成 30 年度からの目標値変更という風にいたします。ありがとうございました。

引き続き、＜議事②の食育推進プラン目標値などの変更について＞事務局からの説明を求めます。

＜議事② 食育推進実施プランの目標値などの変更について＞

～事務局説明～

会長

はい、ありがとうございました。

平成 31 年度に目標値を変更する事業の内容を説明いただきましたけど、ただいまの説明に対しまして、何かご意見・ご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。何でもいいですけど。タイトルがちょっとわかりにくいんですけど、平成 31 年度に目標値を変更する事業は、予算を伴うため、変更予定の事業名等を記入する。その下に目標値の記入は不要というふうに書いてありますけど、目標値の変更をするというふうの下に目標値の記入を書いてあるんですけど、ちょっとわからないんですけど。

【健康づくり課】

これは、それぞれの担当のところに資料作成をお願いしたのをそのまま使ったので、削除ができていませんでした。目標値の記入は不要の部分が、削除ができていませんでした。申し訳ありません。

会長

他にはございませんでしょうか？はい、川野委員

川野委員

事業番号 48 番の保育所給食施設指導のところなんですけれども、これは、指標式名は変わらないということですよ。今までは提出率ということで見えていたということですか？ですよ。提出＝指導ということで見えていた？今までは？

【健康づくり課】

提出が 5 月と 10 月に給食を実施した分の内容検討表を提出いただくのですが、5 月・10 月が過ぎて

も提出がない施設もありましたので、そちらについては提出をお願いするような連絡をしております、少しずつ5月と10月の分の提出をいただくということで意識付けはできてきたところなので、これからはその中身についてを見ていきたいなというところで、指標式名は変えず、内容を見直したいと思いました。

川野委員

これまでは提出率ということで29年度の目標達成度111.1%ということですかね。今度指導を平成31年度実際される時は、年に2回のカウントというか、たとえば5月はよかった、10月は悪かったというふうなのはどんなふうにカウントされていますか。

【健康づくり課】

こちらの割合を出させていただいたのは、5月も10月も支援をさせていただいた施設が1か所とカウントさせていただいて、5月は支援したけど10月は支援していないという施設が1か所、逆もあって5月は支援してないけど10月は支援したというところも1か所という形でカウントしています。

川野委員

わかりました。それでは、施設数×2回ということでパーセントを出していいということですね。

【健康づくり課】

施設数は×2にしません。

川野委員

2回の指導なので、2回分が100まあ50件×2の100だとしたら、100のうち50件の指導で収めたいということでしょうか。

【健康づくり課】

件数ではなくて、施設の割合です。提出をいただいている保育所、認定こども園全体の数から、5月に支援した園、10月に支援した園、5月も10月も支援した園というところがありますので、2回支援した園は1園とカウントさせていただきました。

川野委員

わかりました、2回でも1回でも1園ということですね。なかなかじゃあこのパーセントというのは下げられないということですかね。今から指標を決めていかれるということですよ。

【健康づくり課】

そうですね、中身についてを見ていくのは、これからさせていただければというところで挙げさせていただきました。

川野委員

わかりました。じゃあ現状は今ちょっとどのような状況かというのはわからない。良い・悪いというところの現状というのは、今の時点ではわかっていないというところ。50%にした理由というところは、今の現状でもう少し改善した方がいいところが、どれくらいあるよというのがわかったうえでの50%なのか、というところ。

【健康づくり課】

設定根拠のところは挙げさせていただいているのですが、過去の指導状況をもとに、昨年度とその前の年を見たのですが、結果については開きがありまして、それは審査する人の見方の違いといったところもあるかもしれないなというところで、そこは見方を統一していきながら設定をしたいなと思いついて、50%にさせていただきました。

川野委員

わかりました。では過不足率何%がラインというのは今からということで、およそ50%位にしていきたいということでよろしかったですかね。平成31年度実施してみたらまた目標値等検討していかれるということですね。

【健康づくり課】

そうですね、平成30年度も進行中なのでまだ評価ができていない状況なので。

川野委員

わかりました。ありがとうございます。

会長

よろしいですかね。ほかにご意見ご質問等ございませんでしょうか。

事業番号30番のいわゆる8020運動ですね、目標達成されての事業廃止となっております。私も年を取ってきて将来8020になるかなと心配しているんですけど、これは達成はどのくらいだったのでしょうか。

【健康づくり課】

変更理由のところは詳しく上げておらず、すみません。平成29年度の状況としましては、佐世保市の成人歯科健診を受診された数からの内訳で、74歳から84歳までの方を80歳ということで、国の出し方と同じような形で見ました。そうしますと66%ということで、20本以上お持ちの方が直近66%でした。国は5年に1回歯科疾患状況調査というものを行いついて、平成28年度に調査をしており、そちらの現状が50.2%という状況で、国も半数以上お持ちになっているということでこういう風な状況になっておりました。平成28年度佐世保市はどうであったかということで、比較を取りましたところ、50.8%ということで、国に近づくような数を持っておりましたので、こちらの方は事業達成をして、現状、こちらのコテストは廃止をしましたが、今後成人健診ではこちらの年齢の方も実施

をされますので、平成 31 年度からは 8020 認定証というのを発行しまして、20 本あられる方に對しましては、認定するような形で進む決定をしております。

会長

よくわかりました。ありがとうございます。他にご質問・ご意見などございませんでしょうか。よろしいですか何でもいいですけど。

澤田委員

中学校の現状についてお話をしようかなと思ひまして、目標値の平成 31 年度の事業についての変更ではなくてですね。最初に実施事業一覧というのをを見せていただいて、事業番号 43 番学校における食育推進事業等のところで、食育指導全体計画の作成が 100%という風になっております。100%なんですけども、おそらく平成 28 年度くらいに作成したものを、そのまま学校は作ったとしているのではないかと。実際のところ今年度食育の全体計画というのをたぶん職員は知らないのではないかと。いうくらいの状況でありまして、最近の子供たちというのが、非常に体がもろくなってきているなというの強く感じます。昨年度、階段の 2 段からちょっと飛び降りたら足を骨折したという生徒がいました。体育大会で 100M 走ってゴールしたら股関節が骨折していたという子供もおりました。非常に、転んで手をつけば骨折という状況が見られます。本当に食育というのを真剣に子供も含めて保護者に伝えていかないといけないなと、どういう手を使えばいいのかなというふうに悩んでいるところではございます。その中で、実施事業の 35 番ヘルシークッキングコンテストですけど、平成 27 年度に 1,475 作品だったのが年々下がって行って、平成 29 年度に 1,003 作品となっております。たぶんこれが今の子供たちまたは保護者の食育に対する意識なんじゃないかなというふうに、この数字を見て思いました。やっぱり学校単位で出しているところもあると思うんですが、食に対しての意識をもう少し学校の方も真剣に考えないといけないのかな。この目標値もずっと 1,500 点で平成 30 年度、平成 31 年度挙げられていますけど、果たしてこれが可能なのかな、変更しなくていいのかなという心配をしていると同時に学校現場ももっともっと食育について、以前食育が始まる時に随分学校現場でも食育についていろいろな指導をしたんですけど、今は食育よりも学力学力言われている現状ですので、なかなか食育に重点を置けないな。そういう指導に重点を置けないなというのが現状であります。という意見を述べさせていただきます。

会長

貴重なご意見ありがとうございます。子供が走って骨折したというのを聞いてショックを受けていたんですけど、小児科の先生から何かご意見はございませんでしょうか。

小松委員

小児科の現場では、整形外科ではないので数が足りないのでは何とも言えないところはありますけど、小児科で多いのは単純性股関節炎というのがありまして、日曜日とかに遊んで走ったりすると、翌日足をびっこになってくるという子がいて、そういう子はちょこちょこ見まして、小さいころから遊びなれていないところもあるのかなとは思ひます。

会長

はい、ありがとうございます。他にご意見は。

井上委員

子供というくくりで小学校ですけれども、澤田委員の話とも関連があるのですが、2つ課題を意識しています。1つめは、食育の重要性を届けたい方に届かない。これは一番目の課題です。おそらく、妊娠をされてから子供たちが大きくなるプロセスの中にも同じ課題がずっとあって、それをどうやって届けたい方に率を上げていくかなというのは、小学校はまさにそのことが一つの課題で、針尾小学校の例ですけど、訴求する媒体が紙媒体で届かないんですよ。子供から保護者の方に届かない。眺めはするんですけど読まない。では、媒体として何を活用するかなと思った時に、正しいのかどうかわからないですけど、今年度は安心メールというのが個人に届くんですね。これを使うと圧倒的に変化があります。提出率が上がったとか。要するにホームページを見てくださいといっても眺めるだけなんです。ところが、スマートフォンに個人対象で行くメールは確実に見るんです。すると訴求効果が上がるというのは現状としてありました。これを食育に限らず学校としては様々な保健面とかその他のところで活用していこうかなと思っています。2点目がですね、クオリティを上げる。早寝・早起・朝ごはん。朝ごはんの率はかなり上がっています。ところが質はどうか？菓子パン食べて水を飲んでくるという子。それでもご飯を食べてきた。とカウントはされます。要するに数字はよくなっているけれども、イエスカノーではイエス。しかし、「どのような」と「どのように」というのはやはり探っていくと大きな課題があるというのは現状ですので、そこは学校としても具体策を持って臨んでいくというのをやらないと。もう一度戻りますと、結局はどのようにして伝えていくのか？切実感を持ってもらうかというのは、学校やこういった事業の中でも同じ課題を持っているのかなという風に思っております。

会長

ありがとうございました。非常に貴重なご意見をいただいたところですけども。食育をどう伝えるかというのは、なかなか難しいテーマだと思うんですね。今言われたようにそういうのも踏まえて今後の課題と思いますので、また検討をされてほしいと思います。よろしいでしょうか。他にはありませんでしょうか。

川崎委員

育成連盟です。私どもは、学校現場を支えるという立場から、社会教育課などとともに事業を実施しております。その中で、事業番号46番の放課後子どもプラン推進事業というところでは、ここでは、放課後子ども教室と通学合宿というところで、内容的には通学合宿が取り上げられておりますが、各小学校区毎に、ほとんどのところで、放課後子ども教室という形での実施をしております。そこでは食に関しての項目を体験というところでも取り入れているところもあります。こういったところには表れておりませんが、そういう実施を各小学校区において地域の人も交えて実施しているというところもございます。今、佐世保市全体で進められております、自治協議会という活動におきましては、

たとえば事業番号 39 番の生涯学習というようなあたりにしましても、いろいろな取り組み、事業番号 38 番の公民館主催講座事業というあたりでも自治協議会との連携というふうなことで、いろいろな方々に普及できる場所が多いのではと感じております。

会長

ありがとうございました。通学合宿というのはわからなかったんですけど、具体的にどこに泊まるものなんですか。

川崎委員

公民館などに子供たちが宿泊をして、そこで自分たちで、自分の食べる朝ごはんや夕飯を地域の方々と一緒に作ります。学校から帰ってきたら夕飯を作って、公民館などに宿泊をして、翌朝自分たちの朝食を作り食べ、学校に行くというような形です。

会長

わかりました。まさに食育実践ということですね。他にはございませんでしょうか。

森山委員

私どもは、健康づくり課の養成を受けまして、健康づくり課からの研修会で、メニューと講座の内容の研修を受けまして、各地区の公民館で年間 90～100 回の講座をしております。そのほかにも高校とか、児童センター祭りの中の食育コーナー、ここ 2 年ではわんぱく広場の中の食育コーナーを短大とご一緒にさせていただいております。子供の食育が大切ということで、子供の食育に関する私たちも勉強会やいろいろな媒体を作ったりということで、チームを作って勉強をしようと思っておりますので、保育園や幼稚園・学校などで、食育のゲームだとか講話だとか調理実習などの出前講座も致しますので、よろしければお声をかけてください。

会長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

そうしましたら、平成 31 年度の目標値変更ということで、ご理解いただけましたでしょうか。よろしいでしょうか。

委員

はい。(承認)

会長

ご了解いただきましたので、平成 31 年度目標値といたします。

それでは時間もだいぶ迫ってきましたので、ここで本日この場で議論したことを集約いたします。本日はまずは、現在行われております、佐世保市第 3 次食育推進計画の実施プランの進捗状況につきまして事務局よりご説明がございました。食育推進計画における実施プランの削除、それから追加のご報告がございました。目標値達成度 80%未達の事業につきましては各担当課での分析内容について

て、詳しいご報告をいただきました。実施プランに掲載されております 69 事業の中で、平成 29 年度に実施された事業 56 事業につきましては、目標値の 80%以上を達成されている事業が 45 事業で、達成率が 80.4%という結果ということでした。

次に、進行中の事業の中で目標値を変更する事業について説明をいただきました。変更につきましては、平成 30 年度内に目標値を変更する事業が 11 件、平成 31 年度から変更する事業が 8 件ございました。改正の変更の事情、理由を各担当課からご説明いただきまして、委員の皆様にご検討いただきましてすべて了承をいただいたということでした。

では、第 3 次食育推進計画が平成 29 年から走りをはじめまして平成 33 年までちょうど 5 年間まだ 1 年半ちょっと位なんですけども、事業の見直しをするのには時期的にはちょうどよかったのではないかなという風に思っております。この推進計画をご覧になってわかりますように、実に 69 もの事業が検討されているんですね。市役所のいろいろな部署の方々が、食育という名のもとに努力されていることがご理解いただけたのではないかと思います。先ほど、縦割り行政の続きなんですけど、この前の土曜日に NHK の番組で、「AI に聞いてみたどうすんだよ日本」という番組があったんですけど、ご覧になられた方はいらっしゃいますか。山梨県でしたね。日本で一番健康寿命が延びた県が山梨県で、そこを分析した結果をしていたんですけど。すると県庁の中の健康長寿課と、地域安全課というところが、あまり関係なさそうなんですけど、タッグを組んでやるぞと、そこが非常に良かったのではないかなということだったですね。今日の食育推進会議もいろいろな部署の方が来られてですね、一つはこれに通じるものがあるのかなと非常に強く感じたんですけども。今後ともチーム食育という感じで、多くの方々のご協力何とかよろしくお願ひしたいと思います。平成 33 年までだいぶ、時間もまだありますので、食育推進会議でも事業の進捗状況を委員の皆様とともに佐世保市のために見守らせていただきたいという風に思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。これで本日の会議はすべて終了いたしました。皆様のご協力で会議が滞りなく終了しましたことを感謝申し上げます。それでは、事務局へお返しいたします。

【事務局 健康づくり課】

柴田会長、どうもありがとうございました。今年度の食育推進会議の開催につきましては、今回の 1 回と予定しております。委員の皆様には来年度また改めてご案内を差し上げたいと思いますので、よろしくお願ひします。

これをもちまして、平成 30 年度佐世保市食育推進会議を閉会いたします。長時間お疲れ様でした。今後とも市の食育推進事業にご協力のほどよろしくお願ひいたします。どうもありがとうございました。